

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B3101-5		事務事業名			キャッシュレス決済推進事業 <th colspan="3">事業期間</th> <td colspan="2">平成4年度</td> <td colspan="1">～</td> <td colspan="3">令和8年度以降</td>			事業期間			平成4年度		～	令和8年度以降					
実施計画事業																					
実施計画事業以外の事業		○		担当部			こども未来部			担当課・担当係			多世代交流プラザ・事業推進係								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	自治体経営編		基本 施策	31	展開 方向	1	事業・予算区分		一般事業		款	3	項	3	目	5	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画									対象 (何・誰を対象に)		こども未来館来館者(市外)									
	目的 (何のために)	利用者の利便性向上や現金管理のリスクを減らすため								内容 (どのような方法で)		こども未来館の入館料において、QRコード決済を令和4年9月より開始したことに伴う、決済手数料の支払い									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	—	—	65	219	
				国・県支出金		—	—	0	0	
				その他		—	—	0	0	
			計(A)		0	0	65	219		
			対前年比		%	—	—	—	336.92%	
		予算額		千円	—	—	104	308	394	
	人件費	正規職員		人	0	0	0.01	0.01		
		正規職員(平均賃金)		千円	0	0	75	75		
		その他職員		人	—	—	—	—		
		その他職員(時給×時間)		千円	0	0	0	0		
		計(B)		千円	0	0	75	75		
	事業費合計(C=A+B)			千円	0	0	140	294		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	31	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1		人						
	展開方向	1	2		人						
			3								

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	QRコード利用割合	%	目標					
				実績	—	—	31.8	33.6	
				目標					
				実績					
	活動指標	コード決済利用者数	件	目標					
				実績	—	—	5,001	16,858	
				目標					
				実績					
	単位 事業あたり	受益者数(a)		人			5,001	16,858	
		受益者あたり事業費(=C/a)		円			27	17	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの						
	事業の達成状況と課題	利用料の支払いについては、券売機により現金又はコード決済を利用者が選択できるようになっており利用者の利便性向上に寄与しているものとする。	今後の実施内容・今後の改善内容	今後も継続して実施していく。					
	改善の有無	無	事務事業評価 による額	千円		節	細節		細々節
これまでの改善内容									

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	市の施設を利用する方に対し、利便性向上や現金の取り扱いリスクの減少にもつながるため。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	市の施設を利用する方に対し、不便になるだけでなく、や現金の取り扱いリスクにもつながる。また、時代の流れにもそぐわない。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	決まった提携利率に基づき支払いをするものであるため、削減ができないもの
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	統合等の余地はない。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	利用者の利便性向上に寄与している